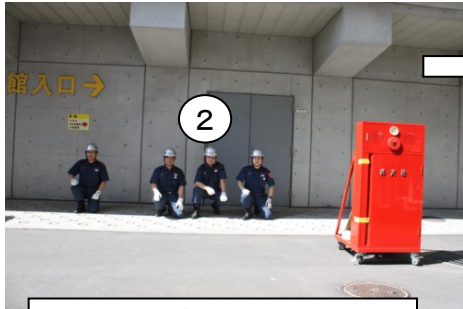


屋内消火栓操法実施要領

〈 2 番 員 〉



待機線の後方で折り膝待機



指揮者の「待機線へ集まれ」の号令で立ち上がり一度基本の姿勢となる



腰に手を上げ、左足から進み待機線にいたる



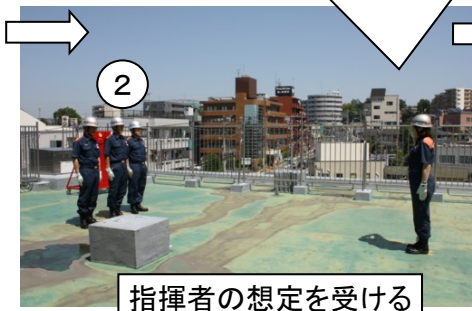
右手を腰にあて頭は右を向く1番員の「よし」の合図で一度右手を下げ正面を向き



正面を向いた後、整列休めとなる



「想定を示す。火点前方標的、屋内消火栓操作法。」



指揮者の想定を受ける

「よし」



指揮者の「操作—始め」の号令で「よし」と呼称し

「操作—始め」



深い左向けをし消火栓箱の方を向く



腰に手を上げ、駆け足で消火栓箱の主面中央の位置にに向かう



消火栓箱正面中央で左足を前にして停止



一度手を下げ



他の番員も同時に移行しますのでこの様な配置になります



右側のホースを両手でつかみ、取り出す



この位置をつかむ



胸につける



右手を下にずらし持ちかえながら

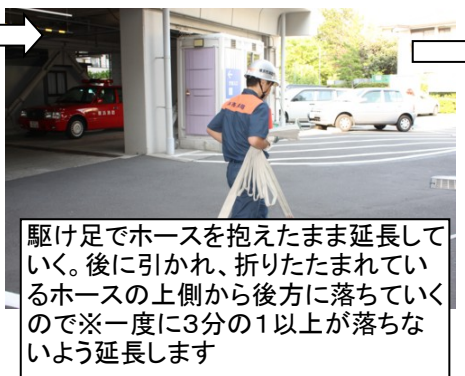


ホースを抱え込みながら、左足を上げながら右足を軸に左に回転する

「よし」



回転終了時、完全に右脇に抱え込んだ体勢となる



駆け足でホースを抱えたまま延長していく。後に引かれ、折りたたまれているホースの上側から後方に落ちていくので※一度に3分の1以上が落ちないように延長します



持っているホースの延長終了直前で①に「よし」と合図する

「放水始め」

「放水始め」



結合部より火点側に1歩前を進み姿勢を正し(足を引きつけ)停止し①の「放水始め」を受け復唱する



右足を後方に引き、180度右に回転するをする



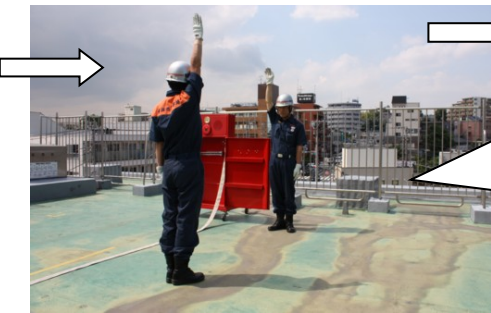
腰に手を上げ駆け出す



3番員から2mの位置で停止し



一度手を下げ、姿勢を正し



手のひらを正面に向け、まっすぐ手を上げる



一度手を下げ、姿勢を正し



右足を後方に引き、180度右に回転する



腰に手を上げ駆け出す

「伝達終わり」

「よし」



手前のホースの中央部分を右足でまたぎ、ホースの右側に移行する



1番員の2歩後方で停止し姿勢を正して「伝達終わり」と呼称する



右足を1歩踏みだし、両手でホースを持つ



標的が倒れ係員の赤旗が振られ、指揮者の「放水止め」の号令で1番員が「放水止め」と復唱するので「よし」と呼称し



両手を離し



両手を体側につけ



左に180度、回転をする



腰に手を上げ駆け出す



3番員から2mの位置で停止し



一度手を下げ、姿勢を正し



すばやく、水平に



一度手を下げ、姿勢を正し



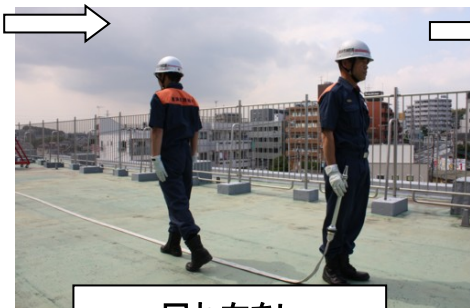
右足を後方に引き、180度右に回転するをする(※足は引きつけない)



1番員の2歩後方で停止し姿勢を正して「伝達終わり」と呼称する



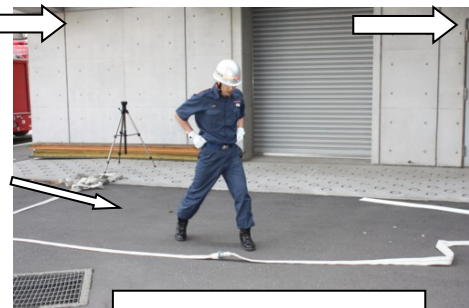
指揮者の「収め」の号令で「よし」と呼称



回れ右をし



腰に手を上げ駆け出す



第2結合部に移行し



正対する



左足で金具付近のホースを踏み



離脱管を押し上げ切り離し



切り離したら、一度左足を
ホースから外し



①側のホースを①と協力し、ね
じれを取りながら伸張する



今度は、消火栓箱側のホースを
③と協力しホースのねじれを取
りながら伸張する



一步踏み出し巻き始める



オス金具をきつく
折り巻き始める



十分腰を下げ、地面に押
しつける様に固く、巻いて
いく



このくらい巻いたら徐々に速
度を上げながらさらに巻いて
いく(転がす感じで)



左足を前にし巻き終わ
り、メス金具を軸にホー
スをたてる



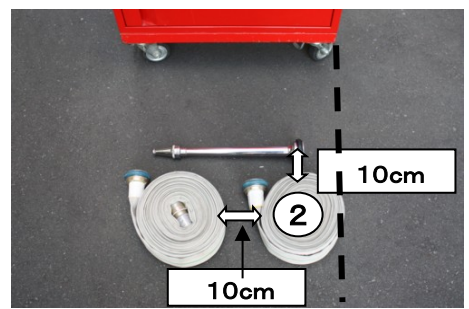
左足の内側でメス金具を軸
にホースを右に回しながら



両手でホースを持ち、消火栓箱右側沿いに右足を踏みだし



右足の内側に付ける感じで、メス金具を左側で前になるようホースを置く



※消火栓箱からはみ出さない



左に向きを変え、集合線に駆け出す

「2番員異常なし」

1番員異常なし

3番員異常なし



指揮者の「点検報告」の号令で

よし



Point
指揮者より先に上げ指揮者が下げた後に下ろす。

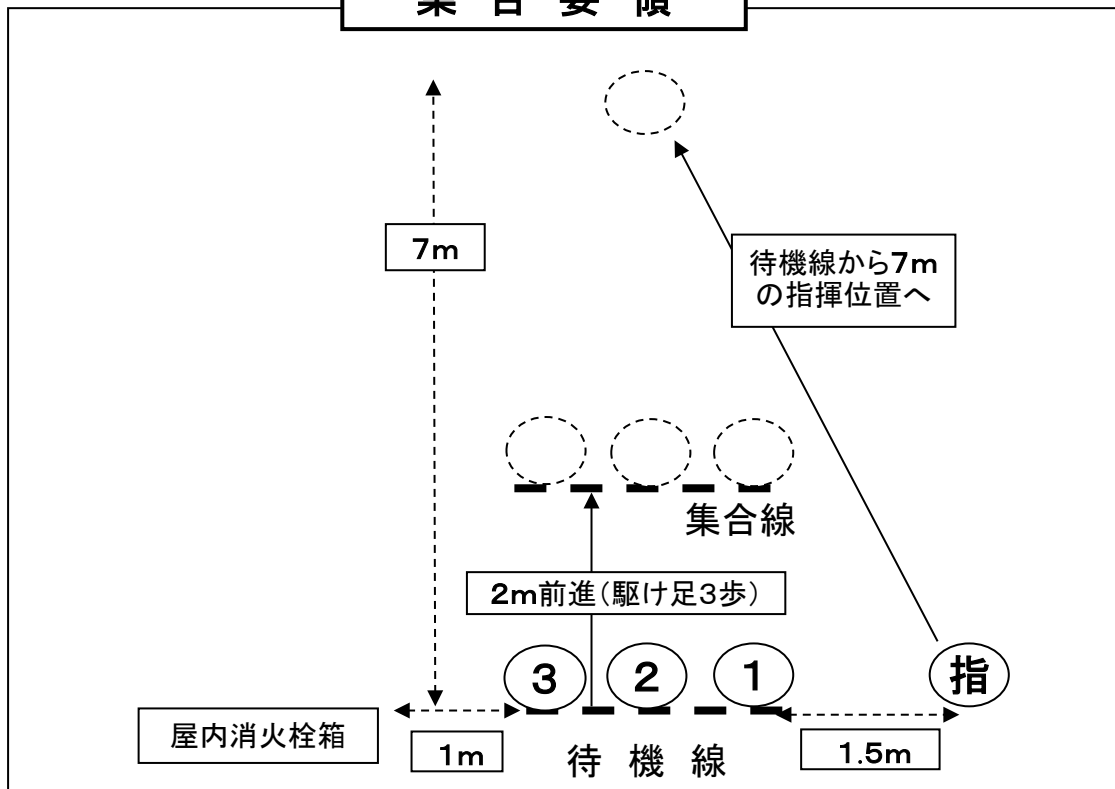


右向け(※足は引きつける)をし



左足から駆け足で退場する

集合要領



「操作始め」からの操作

